

ようこそ東高ライブラリー

令和6年9月30日

図書委員の扉

みなさんは本を読むことは好きですか？
最近スマホやタブレットを使う人が増え、読む人がとても減ってきています。

読書には感性を磨き、想像力や発想力を豊かにする力があります。自分の知らない世界に触れるその描写や風景、人物像を想像することで価値観が変わったり、世界が広がったりするのです。

また言葉のポキヤブラーが増え、アイデアの引き出しがおおくなりません。すきま時間にちよっと読むことができ、今では電子版もあるため、いつでもどこでも読むことができます。読書は自分だけの世界に入りこめるため、とても楽しいです。皆さんも本を読んでください。

(担当 2-1)

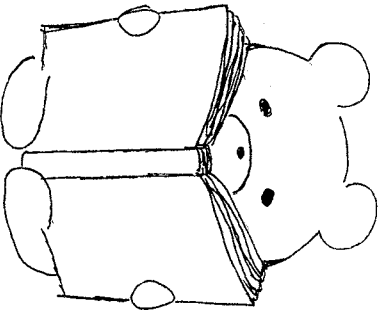


イラスト 3-4

先生方からの寄贈本があります。

- 「令和元年の人生ゲーム」 麻生競馬場著
- 「サーフィン上達1011」
- 「化学の授業をはじめます」 ポニー・ガルス著
- 「春休みに出会った探偵は」 大崎梢著
- 「スピノザの診察室」 夏川草介著
- 「となりのナースエイド」 知念実希人著
- 「装丁室のおしごと」1,2 範野秋晴著
- 「ハケンの落とし前」 本葉かのこ著
- 「函館グルメ開発課の草壁君」 森崎緩著
- 「長井廊下のある家」 有栖川有栖著

本を借りたままの人は早急にお返しくださいませ



その医師は、最期に希望の明かりをとます――。

映画化決定!

20年間、医療の最前線で
命と向き合い奮闘した若者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

依屋大賞 第4位!

